

「(公社)大阪府栄養士会登録栄養ケアチーム」の活動報告 ～平成30年度・令和元年度の報告書より～

平成30年4月に公益社団法人日本栄養士会の「栄養ケア・ステーション認定制度」が始まりました。(公社)大阪府栄養士会は会員である事業者が認定を受け「認定栄養ケア・ステーション」になることを望みました。しかし、この認定には多くの要件があり、その要件をクリアするには、多くの準備が必要となります。そこで本会では「認定栄養ケア・ステーション」への第一歩として、すべての認定要件は満たしていないが、栄養ケアを業務としている事業者に「(公社)大阪府栄養士会登録栄養ケアチーム」(以降、登録栄養ケアチーム)への登録をしていただくことを始めました。

登録受付が始まって丸2年が経過しました。平成30年度に登録をされたのは8チーム(登録会員数55名)でしたが、令和元年度には登録チームは14チーム(登録会員数85名)となりました。登録栄養ケアチームには、年度末に活動の報告書を提出していただき、この報告書を基に、平成30年度と令和元年度の活動報告をいたします。

表1の「栄養食事指導」は、訪問栄養食事指導のうち介護保険、医療保険に関わる栄養食事指導の実施件数が増えているのがわかります。指導対象者数を見ると平成30年度は146名でしたが、令和元年度では1,136名と10倍近くに増加していました。医療保険に関わる栄養食事指導(個人指導)は、実施件数と対象者数ともに増加していました。特定保健指導は他の栄養食事指導に比べて少なく、指導対象者は約800名になっていました。その他の栄養食事指導は、特定疾患の重症化予防指導と電話相談が挙げられており、平成30年度は50件(対象者数637名)、令和元年度は719件(対象者数1,570名)になっていました。

表2の「地域ケア会議」については、平成30年度は309件、令和元年度は356件と50件程の増加があり、管理栄養士が地域に出向き300件以上の会議で助言を行っていました。「講師としての活動」は、セミナー・研修会、乳幼児・イベント等の栄養相談、介護予防教室、料理教室、その他は子育て支援や栄養ワーカーのイベントで、すべての実施件数を合わせると平成30年度は272件、令和元年度は449件と2倍増でした。

「その他事業」では、栄養改善加算事業、衛生管理・調理指導、食育イベント、給食コンサルティングと国民健康・栄養調査等を行い、それぞれのチームの特徴がみられました。

「登録栄養ケアチーム」の活動は、栄養食事指導を中心に幅広く府民へ栄養ケア支援を行っていました。

(公社)大阪府栄養士会の会員数は約3,000名で、それぞれの職域で専門職として活動をおこなっています。一人でも多くの会員の皆様が大阪府民へ向けて栄養ケア支援ができるよう、また会員同士の共助ができるよう「登録栄養ケアチーム」として活動後、「認定栄養ケア・ステーション」に認定され、活動されることを望んでいます。

(公社)大阪府栄養士会には栄養ケア・センター的役割を持った「大阪府栄養士会栄養ケア・ステーション」が設置されています。大阪府下の「認定栄養ケア・ステーション」および「登録栄養ケアチーム」の調整をする役割を担っていきます。

表 1 栄養指導事業

年度 登録栄養 ケアチーム (登録数)	訪問栄養食事指導			医療保険に関わる 栄養食事指導		特定保健指導	その他指導
	医療保健	介護保険	その他 総合事業	個人指導	集団指導		
平成30年度 (8チーム)	65 (6)	612 (53)	269 (87)	720 (190)	0 (0)	44 (878)	50 (637)
令和元年度 (14チーム)	23 (4)	931 (446)	745 (686)	1,241 (922)	2 (28)	67 (790)	719 (1,570)

数字は実施件数 下段：() は対象者数

表 2 地域ケア会議・講師・その他事業

年度 登録栄養 ケアチーム (登録数)	地域ケア会議	講師					その他 事業
		セミナー・ 研修会	栄養相談	介護予防教室	料理教室	その他	
平成30年度 (8チーム)	309	89	15	81	51	36	111
令和元年度 (14チーム)	356	42	200	105	54	54	727

数字は実施件数

(文責 栄養ケア・ステーション担当部長 橋本)